報道関係担当者 各位

豊島区 政策経営部 広報課
令和８年 11 月 20 日

官民学連携シンポジウム 11 月 28 日に開催
「種子屋街道の歴史を今に伝える 種子屋街道に芽吹く地域の未来」



豊島区は、一般財団法人榎本種苗歴史文化財団と共に、11 月 28 日（土）、大正大学にて、「種子屋（たねや）街道の歴史を今に伝える 種子屋街道に芽吹く地域の未来」を開催します。

「榎本家店舗兼住宅および新座敷」は、江戸時代から続く種子屋街道の歴史を伝える、戦災を免れた区内最古の木造住宅で、令和 5 年 4 月に豊島区の有形文化財に指定しました。

本シンポジウムは、種子屋街道の歴史や建物を長く残していく意義などを広く知っていただくことを目的に、第 1 部では、大学教授や学芸員等の登壇者による報告とディスカッションを、第 2 部では「榎本家店舗兼住宅および新座敷」にて、解説付きの現地見学会を実施します。

実施にあたり、一般財団法人榎本種苗歴史文化財団の理事 加藤祐子氏は「今回で3回目となる本シンポジウムでは、行政、民間、学校の枠を超えて力をあわせて『榎本家店舗兼住宅および新座敷』の魅力を最大限引き出し、区民の方々と一緒になって地域に芽吹いた特色ある地域づくりの若葉を大事に育てていきたいです」と話します。

■日　程：令和8年 11 月28 日（土）
■会　場：大正大学8号館4階礼拝ホール（豊島区西巣鴨3－20－1）
　　区指定文化財「榎本家店舗兼住宅および新座敷」（豊島区西巣鴨3－19－2）
■時　間：第１部　13:00～15:00　シンポジウム　※報告後、報告者を交えたディスカッションを実施
　　報告①　江戸・東京の特産物と種子屋－榎本留吉商店と種子屋街道－
　　（豊島区立郷土資料館　学芸員　横山恵美）
　　報告②　江戸東京野菜には物語がある（江戸東京・伝統野菜研究会　代表　大竹道茂氏）
　　報告③　巣鴨オールキャンパス構想と種子屋街道（大正大学　教授　古田尚也氏）
　　報告④　種子屋の歴史を受け継ぐ緑地づくり（信州大学農学部　研究員　政金裕太氏）
　　第2部　15:10～16:30　文化財保存修理事業見学会（協同組合伝統技法研究会　角野茂勝氏）
■定　員：150名（当日直接会場へ）
■参加費：無料
■主　催：一般財団法人榎本種苗歴史文化財団
　共　催：大正大学、豊島区、協同組合伝統技法研究会
　後　援：巣鴨信用金庫、株式会社日本農林社、
　　一般社団法人日本種苗協会、株式会社種苗会館、
　　住友林業株式会社、東京種苗株式会社


「榎本家店舗兼住宅及び新座敷」

■詳　細：
https://www.city.toshima.lg.jp/349/bunka/bunka/bunkazai/event/2609041212.html